

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	8番 服部幸雄	1 新型コロナウイルスに対する対応について	<p>今年の2月から始まった「新型コロナウイルス感染症騒動」は、日本列島のみならず全世界を巻き込んだ、数十年に一度の非常事態となりました。社会全体や教育機関等が、困惑の中で対応してきました。そして今日、未だ終息への出口が見つからない恐怖の中にいます。そして今回の未知の感染症への対応から、私たちは対策に対して多くの教訓を得ました。今、私たちが取り組むべき事は、この時期にその対応に対してのしっかりとした、そして冷静な検証と、現在の状況の沈静化と、次の感染症等の発生時に向けての対応について備えなくてはなりません。</p> <p>町としては、早い時期に感染症対策のチラシ(厚生省作成を参考にしたチラシ)を配布し、三密を避けることや、マスク、手洗いの励行や集会等の自粛を呼びかけ、町主催のイベントや会議などを中止し、素早く適切な対応をいたしました。そして非常事態宣言が発令された翌日の4月8日には「特別対策本部」が設置されました。そのような丁寧な対策の数々が功を奏し、本町では町民の協力も有り、陽性者は今のところ少人数で納まっています。しかし、まだ非常事態は続いています。これからも油断することなく、感染予防を実行していくのがベストだと思います。</p> <p>そこで、質問です。</p> <p>Q1 今後は今回の様な非常時に備え、「マスク・消毒用アルコール」の備蓄をし、学校、幼稚園、介護施設等に状況に応じて、配布の準備が出来る体制を整えておくべきだと思います。今回の様な突発的な感染症の発生や自然災害に備え、平素の準備がいかに大切か、とても良い教訓になりました。</p> <p>そこでまず、執行部としての現在までの感染症対応の是非と、今後の対応の方向性についてお尋ねします。</p> <p>次ぎに、教育関係ですが、政府の要請により、春休みまでの「幼稚園、学校の臨時一斉休校」が、実施され、各家庭では大変な対応を迫られました。特に、共働きのご家庭では、子どもの対応に困惑したご家庭が多かったと聞きます。続いて4月8日から、学校の休業が再び実施され、子どもやご家庭に多くのご苦勞をお掛けすることとなりました。</p> <p>滑川町教育委員会としては政府の方針に沿って、「一斉休校」という苦渋の決断を行いました。しかし「家庭で世話の出来ない幼稚園児や小学1、2年生の登校を可とす</p>	総務政策課長 教育委員会事務局長

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
			<p>る」といった受け皿を設け、少しでも家庭の負担を少なくする対応は、保護者にも共感と理解を得ました。</p> <p>教育長のおっしゃった「ベストではないがベターの対応」は、大変適切であったと思います。そしてその対応に当たった先生方のご苦勞は、並大抵の事ではなかったと想像されます。電話連絡や家庭訪問、そして家庭学習プリントの配布、健康への配慮等、身を粉にしてのご指導に、深く感謝申し上げます。</p> <p>しかし、日々学び続ける児童生徒達に、約三ヶ月以上にわたる学習の空白は、どこかで補填しなくてはなりません。今回の対応では、他の自治体の教育委員会の対応で参考になる取り組みがありました。それは、「タブレット端末」を活用した、オンライン授業という家庭学習の取り組みです。タブレットを通じて、学校と子どもの連絡を密にし、学習指導や生活指導を行うという試みです。文科省や経済産業省は「学びを止めない未来の教室」というサイトを設けました。</p> <p>また、教育産業は無料でネット教材や学習アプリを紹介しています。NTTコミュニケーションズは、動画授業やドリル学習教材を備えた「学びポケット」の無償提供を行っています。その他ヤフーやベネッセホールディングやソフトバンクも同様なサービスを、期限限定ですが行っていました。将来、児童生徒を自社製品に取り込むための方法であることは明白ですが、緊急時の対応としては、活用に値するものだと思います。いずれにしても、この難局を「子どもの自立へのチャンス、教育改革へのチャンス」ととらへ、今後の指導に生かしていくことが大切だと思います。そして改めて、親子や家庭にとって、学校の必要性や有用性、有り難さを認識した騒動でした。</p> <p>そこで質問です。</p> <p>Q2 今後、また、大災害や今回のような感染症の発生により臨時休業を行わざるをえない事態が発生した時、「タブレット端末」や「インターネット」等を活用して、オンライン授業による学習保障を行っていく予定があるのかお尋ねします。</p> <p>また、ある自治体では、学童保育施設に図書館が「本の配達」を行い、子ども達の知的好奇心に応えている活動を行っている、との報道もありました。または図書館が工夫をし、ただ閉館をしているのではなく、衛生面での安全を確保した上で、図書の貸し出しを行うのも1つの方法かと考えます。このような時こそ、本に親しむ児童生徒を多く育てる機会です。</p> <p>町立図書館では、今後同様な状況が発生したとき、この</p>	

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
			<p>ような取り組みが可能かお尋ねします。</p> <p>Q3 そして自宅待機という環境の中で、危惧されるのが「スマホ依存症」です。勤務をしているため、親の目が十分に届かない家庭の中で、教育学者は「スマホ依存症」の増加を大変心配しています。「スマホ依存症」は、子どもの未来を奪い去ってしまう恐ろしい依存症です。普段の生活の中で、正しいスマホの使用について、学校での児童生徒への指導の現状をお尋ねします。</p> <p>Q4 こんなことわざがあります。「逆風が吹いたとき、凡者は風よけを造り、賢者は風車を造る」 これは困難な状況に直面したときこそ、発想の転換を大切にという教えです。これを教育現場に当てはめると、一斉休校時には、感染予防の対策はしながらも、数ヶ月にもわたる期間を、有効に使わせる良いチャンスと置き換えられます。まさに「生きる力」や「生き抜く力」を培う絶好の機会です。こんな時こそアクティブラーニングの基礎を育てるチャンスです。つまり先生方や学校の工夫が問われる所です。 そのためには、日中一人になっても、食事や学習等、規律ある生活が自主的に送れる様な心構えを、普段の生活の中で培っておく必要があります。自分の生活は自分で守ることの出来る、児童生徒の育成が求められています。難しいことではありますが、そのような『自立や自活出来る児童生徒の育成』を、平素の学習や保護者への呼びかけ等の中で、今後どう涵養していくのかお尋ねします。</p> <p>Q5 そして、保護者が在宅ワークになったり、雇い止めにあい、その結果、「児童虐待」が多く発生してるようです。児童と親が狭い家庭の中で生活していると、ささいな事でいざこざが発生し、その怒りのはけ口が弱い児童に向けられているというのだそうです。あつてはいけない事が現実的に起こっているようです。今回の長期休業中に、学校や親からこのような報告はありましたか。</p> <p>要望 今後も感染症対策は、状況の変化に伴い、臨機応変に対応を変えていくと思います。その時々に応じた対応や住民への注意喚起を、適切に伝えていただき、行政と住民とが一丸となって乗り越えていくための先鞭を取っていただく様、執行部にはお願いを申し上げ、要望とさせていただきます。</p>	

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		<p>2 自然災害発生の防災対応への、現在の進捗具合について</p>	<p>昨年は台風 15 号、19 号が、東関東や東北に甚大な被害を与えました。特に 19 号は「100 年に一度の大型台風の襲来」とマスコミが報道し、実際甚大な被害を関東の広範囲に与えました。埼玉県では川越市や東松山市やその他の地区に多くの浸水被害をもたらし、多くの人的・物的被害が発生しました。</p> <p>マスコミは「100 年に一度」とか「これまでに無かったハリケーンなみの大型台風」と伝えていました。しかし同時に「これからは毎年の様に今回並の台風が襲ってくる」と自然科学者達は警鐘を鳴らしています。その原因は温暖化による太平洋の海水温の高温化現象だと言われています。海水が高温になると、今後益々大型の台風が発生すると、その怖さを訴えています。毎年今回の様な大型台風が発生する可能性が大きくなってきているのが現状です。</p> <p>行政に携わる人が常に念頭に実践すべきは「町民の安心安全」です。安心安全が確保されなければ「町民の幸福」はありません。</p> <p>12 月の定例議会で、私は「滑川・市ノ川」の常時点検を提案しました。両河川の点検整備改修等は埼玉県の管轄です。前回の台風で「滑川・市ノ川」の弱点が見えてきました。そして平時のしっかりとした点検がいかに大切かを学びました。</p> <p>山田地区では今年の 3 月中旬、産業振興課のご指導により、県の河川担当者 3 名に現地に来ていただき、昨年「バックウォーター」が発生した現地を視察してもらいました。産業振興課の皆さんと山田区長、土地改良理事数名も参加し、「バックウォーター」解消への対策をお願いいたしました。同時に、河川パトロールの点検時の報告を町にも報告してもらおう様、要望をしました。しかし少し残念なのは、河川担当者の方から、確実に報告しますとの確約は得られなかったことです。</p> <p>そこで質問です。</p> <p>Q 1 県の河川担当に要望しました町への報告は、毎月来ているのでしょうか。河川パトロールからの報告は、関係住民も多くの感心を寄せています。是非、報告書を拝見し、今後の参考にしたいと思います。</p> <p>Q 2 町の組織である防災担当者会議ですが、この会議は災害を受けそうな箇所の再確認と、災害に備えた準備が大きな目的の防災会議と思います。12 月の定例議会でも申し上げましたが、区長の代表の参加では、地域の実態は把握出来ません。災害に遭ってからでの活動ではこ</p>	<p>総務政策課長 建設課長</p>

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
			<p>の会の意味がありません。そこでお尋ねします。今年度開催する予定はありますか。その時、該当地区の区長をメンバーに入れる等のお考えはありますか。</p> <p>Q3 先日作成された「今年度のハザードマップ」が、広報に掲載されましたが、関係者の声が、しっかり反映された「ハザードマップ」になっていたのでしょうか。また台風シーズンが近づいてきている今日、住民にとって参考になる「ハザードマップ」になっているのでしょうか。</p>	
2	12番 内田敏雄	<p>1 新型コロナウイルス対策について</p> <p>2 防犯対策について</p>	<p>新型コロナウイルス感染症は町民の生活に著しい影響を与えています。感染症という事象には、起死回生の一発逆転ホームランは期待できません。しばらくはコロナ禍の影響を受けた生活を強いられると思います。感染症対策は滑川町が単独の力ではできることは限られていますが町民の生活に寄りそった対策ができるのも町政だと考えます。そこで次のことをお伺いします。</p> <p>① 小規模事業者支援事業の進行状況を伺いたい。</p> <p>② 申請受付業務等で非対面申請の普及やリモート会議等の普及も見据えて行政のデジタル化を推進する必要があると思いますが施策を伺いたい。</p> <p>滑川町は令和元年中の犯罪認知件数・犯罪率が埼玉県内の順位が6位となっていて平成30年中の順位8位より悪化しています。</p> <p>滑川町は、駅周辺を中心に市野川以南では都市化が進み、また、生活様式の多様化などにより、地域の間関係が薄れ、地域のコミュニティの希薄化が心配されます。そのような中で、犯罪が発生しやすい状況が生じており、安全な暮らしを地域で支えるために、行政と地域が連携し、「防犯パトロール活動」や「宅地周りの清掃活動」などをお願いして取り組んでいます。犯罪抑止の観点から犯罪が起りにくい環境をさらに整備していくことが必要です。その対策の一例として「防犯カメラの設置」や「防犯灯の整備の充実」などが考えられますが、防犯カメラは、設置費用が高額であることやプライバシー保護の観点から管理が難しいことなどで普及が進んでいない状況にあります。また、新興の住宅地の中には防犯灯が未設置の場所があり、住民の方から早期の設置を望む声が聞かれます。そこで次のことをお伺いします。</p> <p>① 令和元年度要望・質問事項について、防犯関連の要望・質問としてどのような項目があげられていますか。</p> <p>② 防犯灯の設置要望状況と設置状況はどうなっていますか。</p>	<p>産業振興課長 総務政策課長</p> <p>総務政策課長 建設課長</p>

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
			<p>すか。</p> <p>③ 犯罪認知の罪種と発生地域の状況はどうなっていますか。</p> <p>④ 今後の施策を伺いたい。</p>	
3	14番 阿部 弘明	<p>1 町のスポーツ施策の充実と「スポーツ都市宣言」について</p> <p>2 新型コロナ対策と災害対策</p>	<p>「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利である」とうたった「スポーツ基本法」にもとづいたスポーツ施策の充実をはかり、誰もがスポーツを楽しめる条件を拡大するためにお伺いします。</p> <p>○町の「スポーツ政策」についてお伺いします。</p> <p>○誰もが快適に、気軽に利用できる施設についてお伺いします…①利用料金 ②用具・器具の整備充実、③ロッカー・シャワーの設置、④夜間照明の整備、⑤スポーツ指導員の育成配置 について</p> <p>○自主的なスポーツクラブへの支援について</p> <p>○障害者が利用できる施設の増設とバリアフリー化等、障害に配慮した設備・用器具の充実</p> <p>○スポーツの発展に寄与したものへの顕彰</p> <p>○スポーツ基本法に基づく「スポーツ都市宣言」について</p> <p>温暖化による異常気象、感染症の多発、首都直下型・南海トラフ地震の可能性など「災害の世紀に入った」と言われている。「住民の福祉、健康、財産を守る」の地方自治体の役割を發揮するためにお伺いします。</p> <p>○新型コロナ感染状況の現状についてお伺いします。</p> <p>○感染状況を町が独自に把握する事が必要と考えますが以下について必要と考えます。お伺いします。…①町民の陽性率の把握、②独自の検査体制の確立、③民間の検査状況の把握…工業団地との情報共有 について</p> <p>○第二波に備えた防疫計画の作成についてお伺いします。また、医療、福祉、保育、教育、介護等の持続性確保とそのため支援についてお伺いします。</p> <p>○感染症による経済被害の現状についてお伺いします。…①休業などによる中小業者の被害の実態、②国、県、町の制度の活用状況、③雇用調整助成金の活用状況、</p> <p>○さらなる町民の負担軽減策についてお伺いします。…町民税等</p> <p>○感染防止と合わせた災害対応についてお伺いします。…①密をさける避難所等の計画の見直し、②感染防止対策、③学校体育館のエアコン設置、④県に河川改修の早急な完全実施を求める。</p> <p>○「災害の世紀」と言われる時代に国は自治体職員を半減させる「自治体戦略 2040 構想」が動き出しています。町の考えをお伺いします。</p>	<p>教育委員会事務局長</p> <p>健康づくり課長 総務政策課長 産業振興課長 税務課長 建設課長</p>

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		3 少人数学級の実現について	<ul style="list-style-type: none"> ・「新しい生活様式」が求める身体的距離の確保は間隔を2m、最低1m以上あける事を求めています。 ○現在の町の学校の現状についてお伺いします。 ・コロナ禍で改めて少人数学級の必要性が明らかになりました。この間、政府も野党の追及で少人数学級を「検討する」となりました。これらをすすめる上で町の課題についてお伺いします。 ○教員、養護教諭、支援員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、学習指導員、清掃・消毒、オンライン整備の支援員、等の人員の増員数について ○教室の増数について ・さらに、重要なのは長期の休校を経た子どもたち「学びの遅れと格差」の中で「手厚い教育・柔軟な教育」を求めています。 ・学びと共に人間関係の形成、遊びや休息をバランス良く保障する柔軟な教育、心身の状況把握と心のケアについてお伺いします。 	教育委員会事務局長
		4 戦後75年風化させないための施策について	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後75年、町は今年も「戦争と平和を考えるパネル展」をおこない、広報には町内の戦跡の紹介と戦争体験を掲載するなど努力を続けています。引き続き、継続した努力を求めます。コロナ禍の中、新しい取り組みも求められています。今後の取り組みの方針についてお伺いします。 ○風化が進む「戦跡」の保存についてお伺いします。 ○若い方に、ホームページ上での「パネル展」や「戦争遺品」の展示、「戦跡」をめぐる動画や戦争体験の証言の動画の上映などが可能ではないか。お伺いします。 	総務政策課長
4	5番 上野 葉月	1 学校で行った新型コロナウイルス感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> ①2020年3月から始まった休校、その後の授業開始、約3週間の短い夏休みと新型コロナウイルス感染症の影響を学校は強く受けています。その中で実施した主要な施策・対策を教えてください。 また、対策実施のために費用を多く要した施策を教えてください。 ②休校措置を開始した3月と現在では、滑川町内での感染者の発生有無、新型コロナウイルスの情報など変化が生じています。3月と現在で、認識を変えた事や学校運営のために大きく更新した情報はありますか。 	教育委員会事務局長
		2 学校での水泳授業とプール建築	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、今年は小学校の水泳授業はできていません。昨年は猛暑のために気温・水温が高く授業数がかなり少なくなりました。</p> <p>小学校で実施すべき水泳授業数と、この3年間での実績</p>	教育長
				教育委員会事務局

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
			<p>授業数を教えてください。</p> <p>②福田小学校のプール建築費と、宮前小学校のプール建築予算を教えてください。</p>	